

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年11月14日(2019.11.14)

【公表番号】特表2018-535949(P2018-535949A)

【公表日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2018-518629(P2018-518629)

【国際特許分類】

C 07 D 213/38	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 35/02	(2006.01)
A 61 P 17/00	(2006.01)
A 61 P 13/12	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)
A 61 P 1/16	(2006.01)
A 61 P 21/00	(2006.01)
C 07 D 401/14	(2006.01)
C 07 D 401/12	(2006.01)
C 07 D 417/14	(2006.01)
C 07 D 405/14	(2006.01)
C 07 D 471/04	(2006.01)
C 07 D 403/12	(2006.01)
C 07 D 513/04	(2006.01)
C 07 D 487/04	(2006.01)
C 07 D 498/04	(2006.01)
C 07 D 413/14	(2006.01)
A 61 K 31/506	(2006.01)
A 61 K 31/541	(2006.01)
A 61 K 31/5383	(2006.01)
A 61 K 31/4709	(2006.01)
A 61 K 31/519	(2006.01)
A 61 K 31/4725	(2006.01)
A 61 K 31/444	(2006.01)
A 61 K 31/502	(2006.01)
A 61 K 31/498	(2006.01)
A 61 K 31/4418	(2006.01)

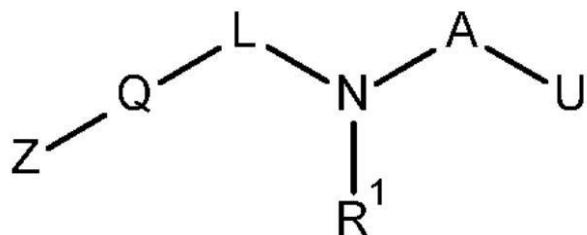
【F I】

C 07 D 213/38	C S P
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 35/00	
A 61 P 35/02	
A 61 P 17/00	
A 61 P 13/12	
A 61 P 11/00	
A 61 P 1/16	
A 61 P 21/00	
C 07 D 401/14	
C 07 D 401/12	

C 0 7 D	417/14	
C 0 7 D	405/14	
C 0 7 D	471/04	1 0 8 A
C 0 7 D	471/04	1 1 2
C 0 7 D	403/12	
C 0 7 D	513/04	3 4 3
C 0 7 D	487/04	1 4 5
C 0 7 D	471/04	1 1 3
C 0 7 D	487/04	1 4 1
C 0 7 D	471/04	1 0 2
C 0 7 D	498/04	1 1 2 T
C 0 7 D	471/04	1 2 0
C 0 7 D	413/14	
C 0 7 D	471/04	1 1 8 Z
A 6 1 K	31/506	
A 6 1 K	31/541	
A 6 1 K	31/5383	
A 6 1 K	31/4709	
A 6 1 K	31/519	
A 6 1 K	31/4725	
A 6 1 K	31/444	
A 6 1 K	31/502	
A 6 1 K	31/498	
A 6 1 K	31/4418	
C 0 7 D	471/04	1 0 1

【手続補正書】**【提出日】**令和1年10月3日(2019.10.3)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

式 I :

【化1】

式中、

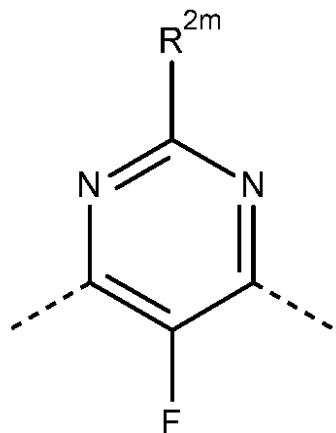
AはA2またはA3であり；

UはU1であり；

LはL1、L2またはL3であり；

A2は

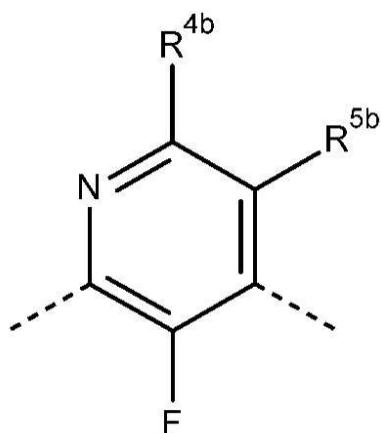
【化2】



であり；

A3は

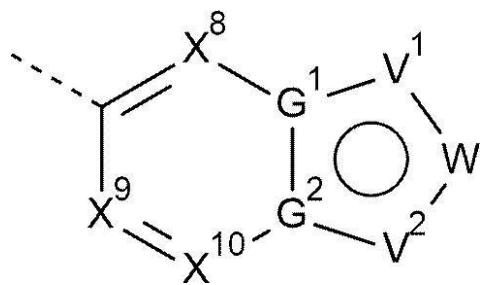
【化3】



であり；

U1は

【化4】



であり、式中、

$X^8 \sim X^{10}$ は独立してNおよびC-R¹⁴から選ばれ；

G^1 および G^2 は独立してNおよびCから選ばれ；

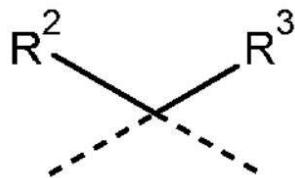
V^1 および V^2 は独立してN、O、SおよびC-R¹⁵から選ばれ；

Wは V^3 、 $V^4 - V^5$ または $V^4 = V^5$ であり、ここで $V^3 \sim V^5$ は独立してN、O、SおよびC-R¹⁶か

ら選ばれ、ここでV⁴はV¹と結合しており；そして
V⁵はV²と結合しており；

L1は

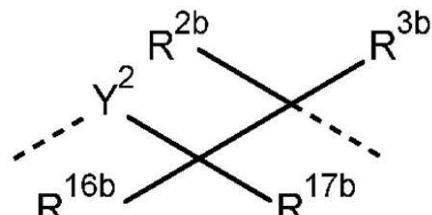
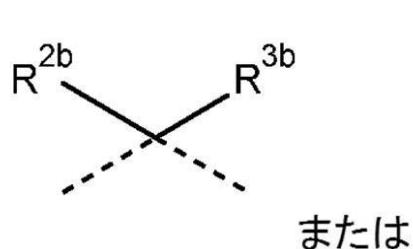
【化5】



であり；

L2は

【化6】



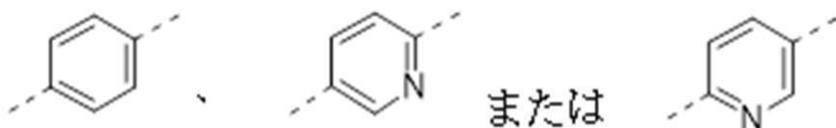
であり、式中、

Y²は空白、-O-、-S-、-N(R^{18b})-または-C(R^{18b})(R^{19b})-であり；

L3は-C(R^{2c})(R^{3c})-または-NHCH₂CH₂-であり；

Qは、それぞれ無置換または1~3個のR^{4a}基で置換された

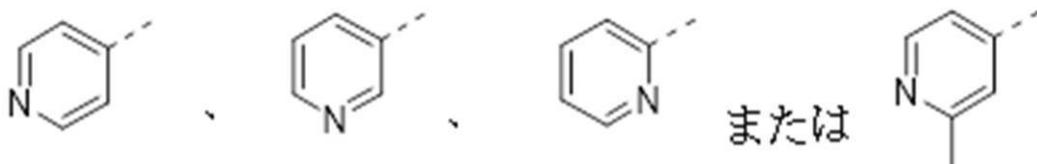
【化7】



であり；

Zは、それぞれ無置換または1~3個のR^{5a}基で置換された

【化8】



であり；

R¹~R³は独立してHおよびC₁-C₆アルキルから選ばれ、ここでC₁-C₆アルキルは無置換または1~3個のハライド、-CN、-OH、C₁-C₃アルキル、C₃-C₅シクロアルキル、またはC₁-C₃アルコキシ基で置換されており；

R¹⁴~R¹⁶は独立してH、ハライド、-CN、-OH、アミノ、C₁-C₆アルキル、C₃-C₆シクロア

ルキル、C₁-C₆アルコキシおよびC₁-C₆アルキルチオから選ばれ、ここでアミノ、C₁-C₆アルキルおよびC₁-C₆アルコキシは無置換または1~3個のハライド、C₁-C₃アルキルまたはC₃-C₆シクロアルキル基で置換されており；

R^{4a}およびR^{5a}は独立してハライド、-CN、および-OHから選ばれ、またはR^{4a}およびR^{5a}は独立してC₁-C₈アルキル、C₃-C₈シクロアルキル、C₁-C₈アルコキシ、C₂-C₈アルケニル、C₂-C₈アルキニル、C₁-C₈アルキルスルホニル、C₁-C₈アシル、アミノアシル、C₁-C₈アシルアミノ、C₁-C₈アルキルカルバモイルアミノ、C₁-C₈アルコキシカルバモイル、C₁-C₈アルキルスルホニアミド、C₁-C₈アルキルアミノスルホニル、C₂-C₈アルコキシアシル、および3-8員ヘテロ環から選ばれ、これらの全ては無置換または1~3個のハライド、-OH、-CN、C₁-C₃アルキル、C₁-C₃アルコキシルまたはC₃-C₈シクロアルキル基で置換されており、ここで3-8員ヘテロ環はN、OまたはSから選ばれる1個以上のヘテロ原子を含み；

R^{2m}はH、重水素、三重水素、ハライド、-OH、-CN、C₁-C₈アルキル、C₃-C₈シクロアルキルまたはC₁-C₈アルコキシであり；

R^{2b}およびR^{3b}は独立してH、無置換またはハライド、-CN、-OH、C₁-C₆アルキル、C₃-C₅シクロアルキルおよびC₁-C₃アルコキシから選ばれる1~3個の基で置換されたC₁-C₆アルキルから選ばれ；

R^{4b}およびR^{5b}は独立してH、ハライド、-CN、アミノ、C₁-C₈アルキル、C₃-C₈シクロアルキル、C₁-C₈アルコキシ、およびC₁-C₃アルキルアミノから選ばれ；

R^{16b}~R^{19b}は独立してHおよび無置換またはハライドで置換されたC₁-C₆アルキルから選ばれ；

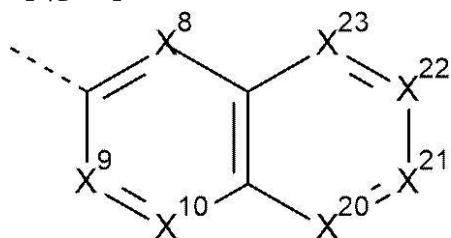
R^{2c}およびR^{3c}は独立してHおよび無置換または1~3個のハライドで置換されたC₁-C₆アルキルから選ばれる

の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩、溶媒和物、立体異性体または互変異性体。

【請求項 2】

Uが

【化 9】

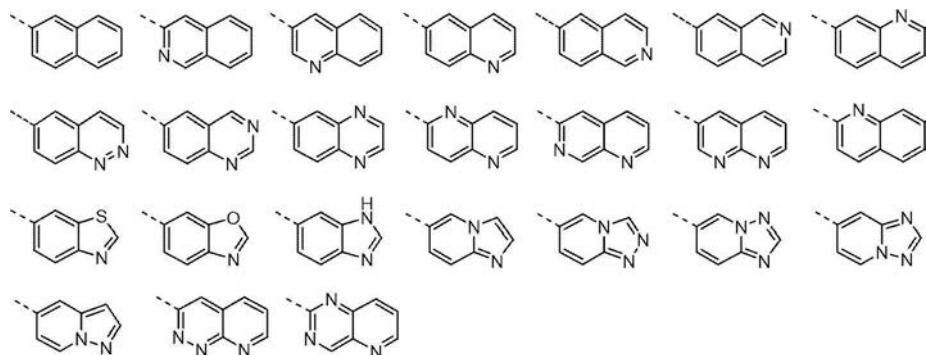


であり、ここでX²⁰~X²³が独立してNまたはC-R¹⁵である請求項1の化合物。

【請求項 3】

Uが無置換または1~3個のR¹⁵基で置換された

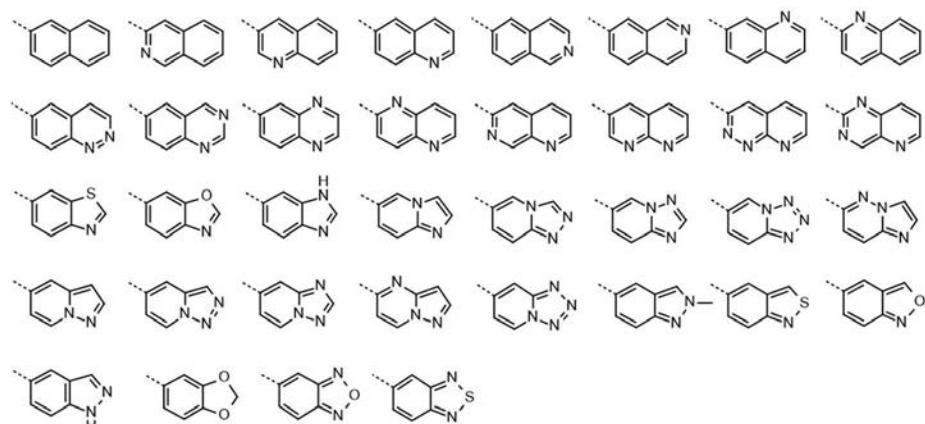
【化 10】



から選ばれる請求項1の化合物。

【請求項 4】

Uが
【化11】

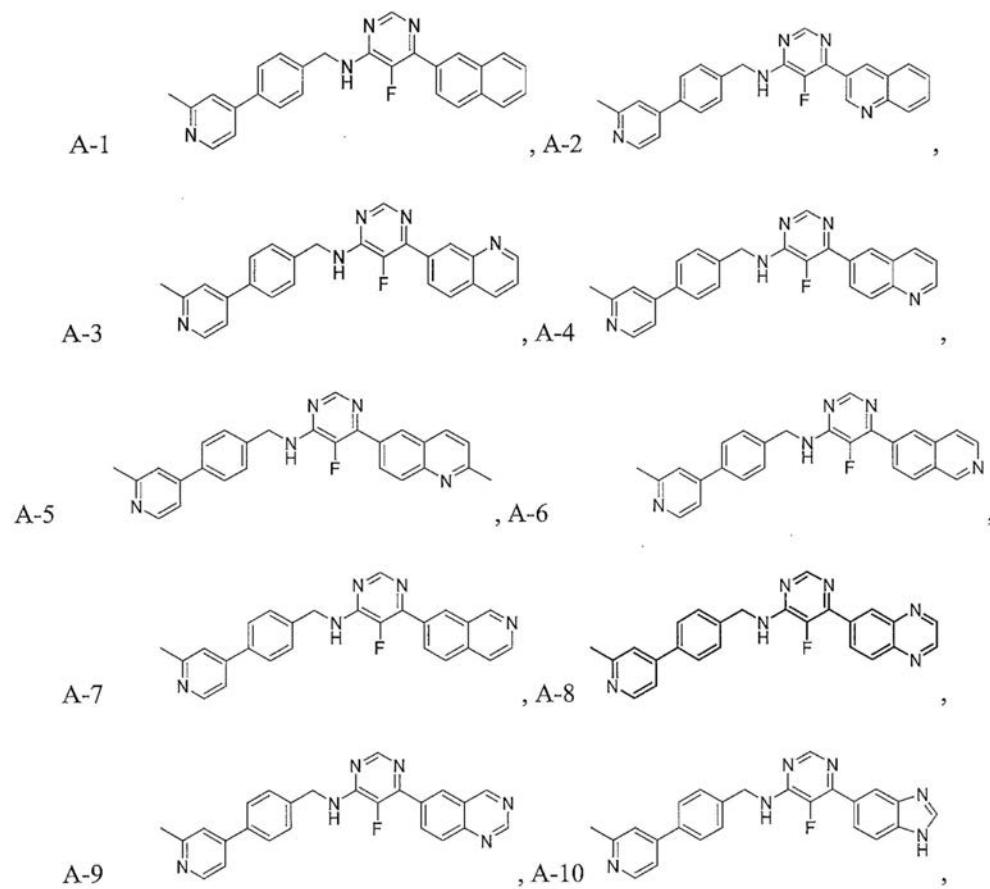


から選ばれる請求項1の化合物。

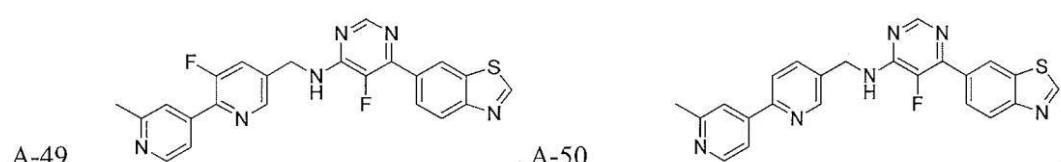
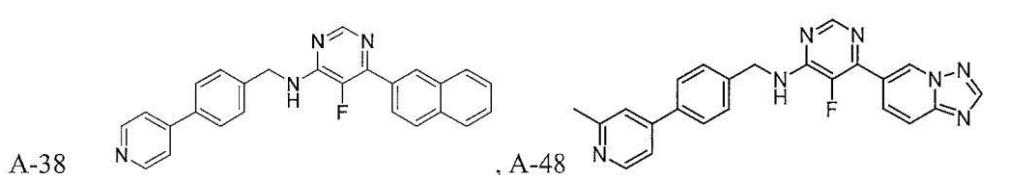
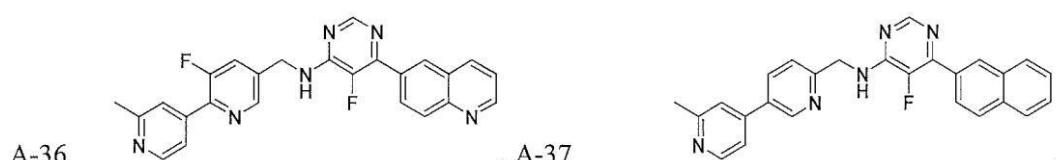
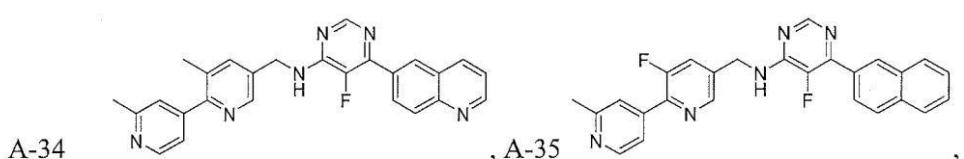
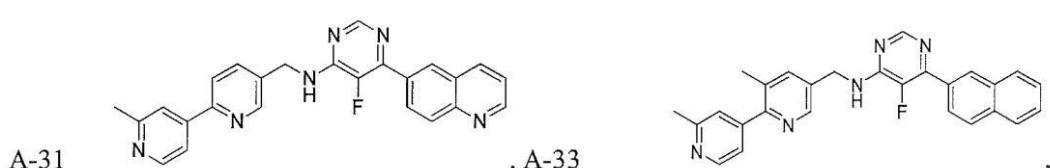
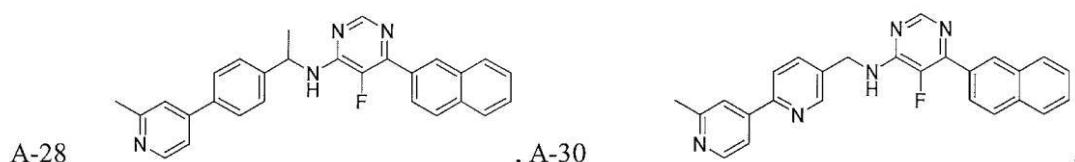
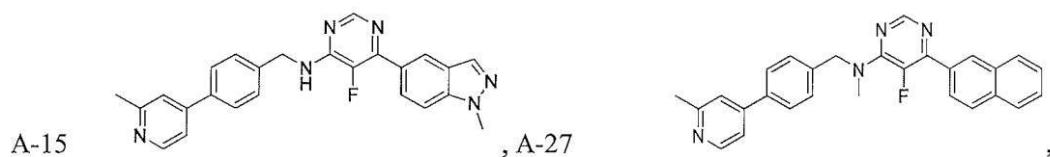
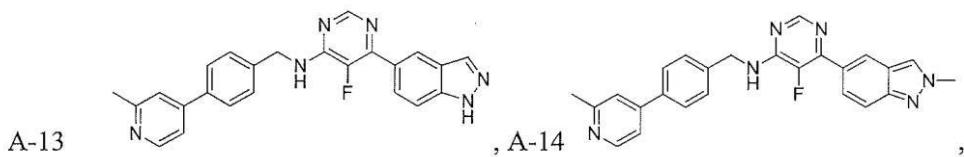
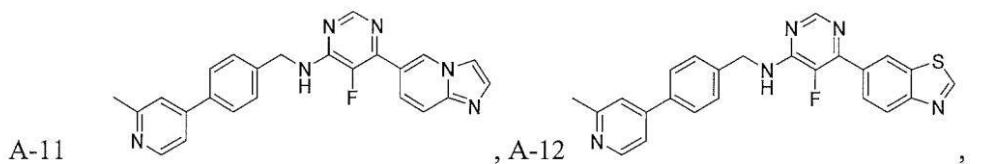
【請求項5】

化合物が

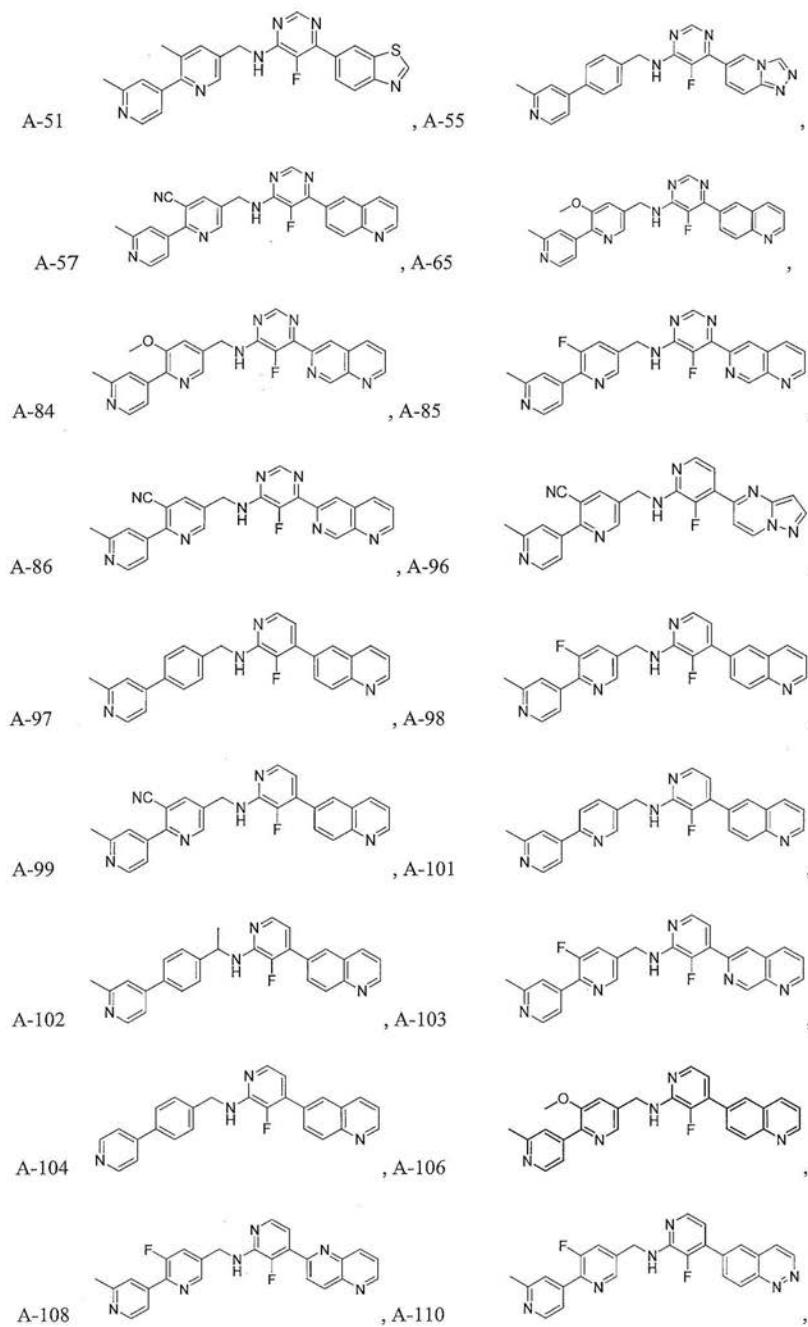
【化12】



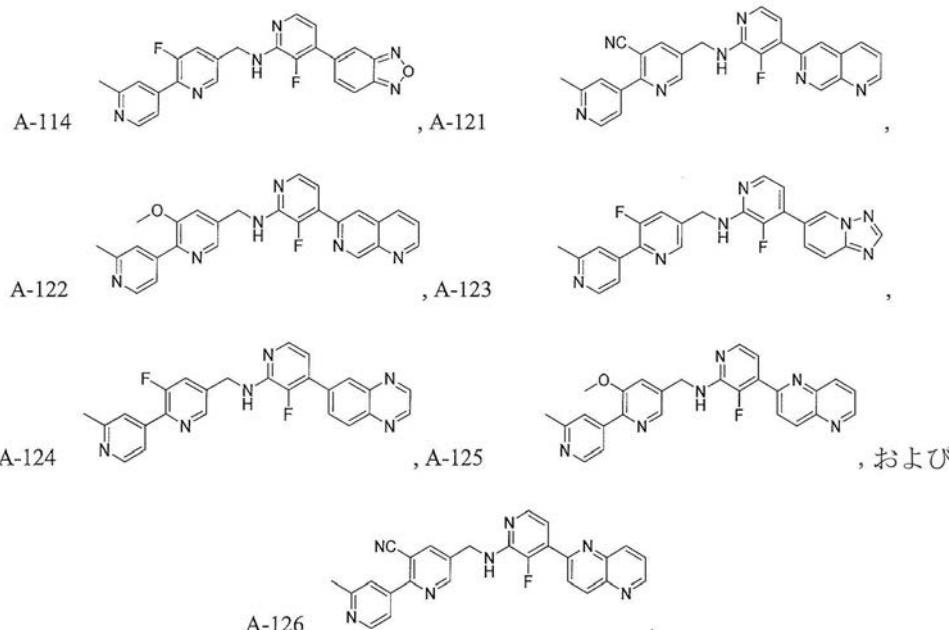
【化 1 3】



【化14】



【化15】



から選ばれる請求項1の化合物。

【請求項6】

治療有効量の請求項1の化合物および薬学的に許容可能な担体を含有する医薬組成物。

【請求項7】

請求項1の化合物、またはその医薬組成物を、必要に応じて第2の治療剤と組み合わせて含有する、Wnt-媒介疾患を患う哺乳動物におけるWnt-媒介疾患の治療に使用するための医薬組成物であって、該疾患が、全身性硬化症、皮膚線維症、突発性肺線維症、腎線維症、肝線維症、薬物誘発線維症、放射線誘発線維症、大腸癌、乳癌、頭頸部扁平上皮癌、食道扁平上皮癌、非小細胞肺癌、胃癌、膵臓癌、白血病、リンパ腫、神経芽細胞腫、網膜芽細胞腫、肉腫、骨肉腫、軟骨肉腫、ユーリング肉腫、横紋筋肉腫、脳腫瘍、ウィルムス腫瘍、基底細胞癌、黒色腫、頭頸部癌、子宮頸癌および前立腺癌からなる群から選ばれる細胞増殖性疾患である、医薬組成物。